

当院での頭部 CT における放射線技師の生命予後に関わる緊急性の高い

疾患の画像（STAT 画像）の正答率、所要時間についての検討

当院では下記の研究を実施しております。この研究は過去に実施した救急外来での頭部 CT を用いて行います。この掲示によるお知らせの後、臨床情報の使用の許可を許可しない旨のご連絡がない場合においては、研究のご理解を頂いたものとして実施します。

なお、個人が特定できる情報は研究には利用しません。また、研究データ上にも残りませんので、研究の実施により患者様ご自身やご家族等の個人情報流出することはないと考えております。

また、研究の成果を公表するときにおいても個人情報を掲示することはありません。皆様方におかれましては、研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究に関する問い合わせなどがありましたら、下記問い合わせ先まで、ご連絡ください。

1. 研究議題名

当院での頭部 CT における放射線技師の生命予後に関わる緊急性の高い疾患の画像（STAT 画像）の正答率、所要時間についての検討

2. 研究の対象となる方

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までに当院で頭部 CT を撮影した方

3. 研究期間

研究実施許可日～2026 年 6 月 30 日

4. 研究の目的

厚生労働省の通知（平成 22 年医政局第 0430 第 1 号、令和 3 年医政発 0930 第 16 号）に基づき、チーム医療の推進および診療の質向上を目的として、診療放射線技師による「画像診断等における読影の補助」を実施する施設が増加しています。なかでも生命予後に関わる緊急性の高い疾患の画像（STAT 画像）所見を読影する医師に伝え、必要な場合は放射線科医師に伝えることで患者が早期治療を受ける機会を逸し死亡する事態を避けることが求められます。

先行研究では STAT 画像における異常所見の伝達方法（口頭や放射線部門システムなどの記録媒体）や報告すべき異常所見についての調査、報告はありましたが放射線技師の正答率を調査した研究は認めませんでした。

今回の検討では診療放射線技師の STAT 画像所見報告の対象疾患である脳出血をどの程度検出できるか、その正答率、所要時間を調べることを目的としています。

5. 研究の方法

当院で撮影された通常の頭部 CT の条件と出血が目立ちやすくなる処理をした条件の画像をそれぞれ 100 件程度を当院の医師、診療放射線技師に読影させて頂き、診療放射線技師の正答率、所要時間を調べます。

6. 利用する情報

診療記録、病名、CT 画像

7. 他機関への臨床情報の提供

本研究の実施にあたり、出血が目立ちやすくなる処理をした条件の画像を山形大学医学部放射線医学講座に設置している PC で作成するため、日本海総合病院で撮影した頭部 CT 画像データを個人が特定されないように個人情報を削除して匿名化して山形大学医学部放射線医学講座へ提供する。作成された出血が目立ちやすくなる処理をした条件の画像は、日本海総合病院での研究に用いるために画像データを返却してもらう。本研究実施後は、山形大学医学部放射線医学講座の PC から匿名化した頭部 CT 画像データを削除する。

8. 臨床情報の管理責任者

管理責任者氏名：伊勢元晴

9. 臨床情報を使用する者

研究責任者氏名：伊勢元晴

分担研究者氏名：高橋利幸、石井芳樹、平賀利匡、鹿戸将史

10. 臨床情報の利用停止について

いつでも、この研究にあなた自身の臨床情報を使用しないよう求めることができます。臨床情報の使用を認めなかったとしても、あなたに不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人または代理人の方より下記の連絡先までお問い合わせください。

ただし、使用停止を求めた時点で、研究結果が論文などで公開されていた場合には、完全に臨床情報の使用を停止できないことがあります。

11. 問い合わせ先

日本海総合病院 放射線診断科医長 伊勢元晴、放射線診断科副部長 高橋利幸

日本海総合病院代表 TEL0234-26-2001